

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
105-109	中学	社会	歴史的分野	1-3
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
236・令書	歴史236- 73	国史教科書 第7版		

1. 編修の基本方針

学習指導要領や教育基本法の主旨を忠実に守りつつ、以下の点を編集の軸とした。

- ① 我が国の連綿と続いてきた歴史や伝統を尊重し、歴史の良識を身につけられるように構成する。
- ② 基本的な知識や技能の習得と、意欲ある学生のための発展的学習を手助けするものをバランスよく構成する。
- ③ 歴史の真実を探究する自主性を促し、答えではなく問いを提起することを重視して構成する。
- ④ 我が国の歴史と伝統に誇りが持てるように構成する。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
本文およびコラム	【幅広い知識と教養を身に着け】本文を中心に豊富な情報量を盛り込み、コラムにおいてさらに補足する形で、従来は焦点が当てられなかったところにまで手の届くものとなるように留意した。(第1号)	全文
コラム・京都になぜお堀がないのか コラム・対米戦争に勝算はあったのか コラム・蒸し返された韓国の請求権	【真理を求める態度を養い】左のコラムのように、歴史上のさまざまな事象に疑問を持ち、自ら探究できるきっかけを随所に配置するように留意した。(第1号)	113-114 386-387 442-443 ページ
コラム・『古事記』の国譲り神話 コラム・聖徳太子はなぜ仏教を受容したのか	【豊かな情操・道徳心を培う】左のコラムのように、我が国の歴史における話し合いの精神や多様性の尊重などを明記することで、学生の豊かな情操や道徳心を喚起するように留意した。(第1号)	38-39 77 ページ
コラム・古代オリンピックと近代オリンピック	【健やかな身体を養う】コラムにおいて、オリンピックの歴史を紹介し、戦争とスポーツの関係を理解させつつ、健や	431 ページ

	かな身体に目を向けられるように留意した。(第1号)	
コラム・修身道德の根本規範『教育勅語』	【個人の価値を尊重し】 教育勅語において「個人の価値」を一方向的に享受するのではなく、周りの人々を慮り、祖先の紡いできた古き良き価値に想いを馳せることの大切さを紹介することで「個人の価値の尊重」をただの権利の享受ではなく、より正しい形で理解できるように留意した。(第2号)	312—313 ページ
コラム・日本が生んだ新幹線	【その能力を伸ばし、創造性を培う】 新幹線という今では当たり前の公共交通機関が、世界の常識を覆すほどの創造性を有するものであったことを紹介し、日本のものづくりと身近なモノの創造性に気付かせるように留意した。(第2号)	427—428 ページ
コラム・真の勉強とは	【職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んじる態度を養うこと】 真の勉強とは知の探究にこそあるという吉田松陰の教えを取り上げ、お金や仕事のための勉強よりも、知の探究こそが実生活にも良い影響を与えるものであることを気付かせるように留意した。(第2号)	256 ページ
コラム・トルコと日本の意外なつながり コラム・昭和天皇とマッカーサー元帥の会談	【正義と責任】 エルトゥールル号事件における日本人の行動が今なお続く両国関係に繋がっていることや、敗戦時の昭和天皇の責任感ある態度を紹介し、正義と責任の意義について理解出来るように留意した。(第3号)	319—320 419—420 ページ
本文 P129 御成敗式目 コラム・福沢諭吉の母は偉かった	【男女の平等】 福沢諭吉の母親などの日本人女性の活躍を取り上げ、母親の偉大さに気づかせるように留意した。 また、御成敗式目で男女平等が謳われていることを説明し、日本社会で男女平等が意識されてきたことに注目させるように留意した。(第3号)	129 296—297 ページ

コラム・「聖帝」として歴代天皇の模範とした仁徳天皇 コラム・修身道德の根本規範『教育勅語』	【公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う】 仁徳天皇や教育勅語の他者を慮る態度が社会に与えた影響を紹介することで、その重要性を理解させるように留意した。(第3号)	63 312-313 ページ
コラム・再評価される「生類憐みの令」	【生命の尊び】 生類憐みの令を詳しく取り上げて、その本質を詳述することで、生命の尊さに気づかせるように留意した。(第4号)	227 ページ
コラム・神宮の御用材	【自然を大切に、環境保全に対する態度を養う】 神宮の御用材がリサイクルされてきたことを紹介し、日本人が環境保全を重視してきたことに気付かせるように留意した。(第4号)	166-167 ページ
コラム・男系で継承されてきた皇統	【伝統と文化を尊重し】 万世一系で途絶えることなく続いてきた皇統に注目させることで、長年継承されてきたものの大切さに気付かせるように留意した。(第5号)	92-93 ページ
コラム・日本語の起源	【それらを育んできた我が国と郷土を愛する】 最も身近な言葉の起源を紹介することで、日本という郷土に想いを至らせるように留意した。(第5号)	84-85 ページ
コラム・トルコと日本の意外なつながり コラム・ウズベキスタンにおける日本人の活躍	【他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う】 他国との助け合いの歴史を尊重することで、国際的な相互理解の重要性に気付かせるように留意した。(第5号)	319-320 425 ページ

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

本書は従来の歴史区分を用いつつも、我が国の歴史の特色に従って、歴史の転換点を独自に設定した。そして、天皇を軸として語ることで歴史の連続性をより実感できるように工夫した。また、本書では縦書きを採用し、小見出しにも「いろは順」を用いるなど、ビジュアル面にもこだわり、読書する楽しみを提示しようと試みた。

内容では基本的内容の列挙にとどまらず、より高いレベルの知的探求を手助けし、歴史の真理を追い求める姿勢を育成するように、情報量と問いを意識して構成した。

(備考) 1 ※受理番号欄には、申請図書番号を記入する。

2 その他の※欄は検定申請時には記入せず、検定決定後に提出する際に記入する。

3 「編修の基本方針」欄には、教育基本法第2条に示す教育の目標を達成するために編修の基本方針とした点を記入する。

4 「対照表」欄には、図書の構成・内容と教育基本法第2条各号に示す教育の目標との対照について記入する。詳細は次のとおりとする。

- ① 「特に意を用いた点や特色」欄には、教育基本法第2条各号に示す教育の目標を達成するために、図書の構成や内容において編修上特に意を用いた点や特色について記入する。その際、教育基本法第2条各号のうち、特に関連が深いものを文末に示す。(例：第〇号)
 - ② 「該当箇所」欄には、上記内容に対応する具体的な箇所が分かるように、主な該当箇所のページ(例：〇ページ)を記入する。
 - ③ 必要に応じ、例で示している様式を参考にして、「対照表」欄を適宜工夫して作成しても差し支えない。
- 5 「上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色」欄には、上記の記載事項以外に、教育基本法第5条に示す義務教育の目的や学校教育法第21条に示す義務教育の目標、学校教育法第51条に示す高等学校教育の目標などを達成するため、編修上特に意を用いた点や特色などがあれば記入する。
 - 6 「編修の基本方針」欄以下の外枠線は、記入しなくても差し支えない。
 - 7 別紙様式第5-1号の分量は5ページ以内とする。

別紙様式第5－2号

(日本産業規格A列4番)

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
105－109	中学	社会	歴史的分野	1－3
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
236・令書	歴史236－ 73	国史教科書 第7版		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

- ・我が国の歴史を、伝統と文化の特色を広い視野に立って臨場感豊かに著し、ワクワクドキドキの連続でまるで映画を見ているかのように、生徒が授業なしでも理解できるようにわかりやすく編集した。
- ・一義的ではなく多角的に理解させ、答えを求めるのではなく問いを提起することを意識して編集した。少数説もフォローし、幅広い知識を習得するために多くの事実を、科学的根拠・データを用いてしっかりと説明した。
- ・我が国の光と影、その両面を学ぶことで我が国を愛し、そして他国を尊重することができる生徒が育つよう、まさに自分自身こそが我が国の連綿と続く歴史の継承者であることを自覚させ、現代と違うもの、変わらぬものを比較する力を養い、どの生活場面でも生かすことができる教科書を作成した。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
<p>この教科書の課題・年表・歴代天皇の系譜・国史を学ぶにあたって</p> <p>巻頭言</p> <p>自分たちで歴史を調べよう</p> <p>年代や時代の表し方</p> <p>グループで歴史を調べよう</p> <p>歴史的な見方・考え方</p>	<p>A (1) (2)</p>	<p>4～15ページ</p>	<p>1時間</p>
<p>第1章 原始</p> <p>一.先土器以前</p> <p>イ.日本列島の誕生</p> <p>ロ.人の起源</p> <p>ハ.日本の磨製石器は世界最古</p> <p>二.縄文時代</p> <p>イ.日本の縄文土器は世界最古級</p> <p>ロ.氷河期時代の終焉と縄文海進</p> <p>ハ.縄文文化と縄文人の生活</p> <p>ニ.影響し合う世界の文明</p> <p>ホ.ユーラシア大陸の状況</p> <p>ヘ.宗教の起こり</p> <p>ト.天孫降臨</p> <p>三.弥生時代</p> <p>イ.稲作の伝来ルート</p> <p>ロ.弥生文化と弥生時代の生活</p> <p>ハ.ギリシャ・ローマの文化</p> <p>ニ. 中国大陸と朝鮮半島の状況</p> <p>ホ. 日向三代と神武天皇の東征伝説</p>	<p>B (1)</p>	<p>17～52ページ</p>	<p>13時間</p>
<p>第2章 古代</p> <p>一.古墳時代</p> <p>イ.前方後円墳の出現</p> <p>ロ.『魏志』倭人伝が伝える三世紀の日本</p> <p>ハ.謎の四世紀</p> <p>ニ.記紀が伝える日本統一</p> <p>ホ.世界最大の墓は仁徳天皇陵</p> <p>ヘ.宋への朝貢</p> <p>ト.ワカタケル大王と雄略天皇</p> <p>チ.古墳時代の人々の生活</p> <p>二.飛鳥時代</p> <p>イ.古墳時代から飛鳥時代へ</p> <p>ロ.聖徳太子の新政</p> <p>ハ.中国との対等外交を目指した遣隋使</p> <p>ニ.政変と戦争で進む中央集権化</p> <p>ホ.大宝律令の完成は独立国の証</p> <p>ヘ.「日本」を名乗った大宝の遣隋使</p> <p>三.奈良時代</p> <p>イ.平城京遷都と記紀編纂</p> <p>ロ.繁栄の基礎を築いた藤原氏</p> <p>ハ.出家した聖武天皇と大仏</p> <p>ニ.皇位を狙う道鏡の野望</p>	<p>B (1)</p>	<p>53～118ページ</p>	<p>27時間</p>

<p>ホ.奈良時代の人々の暮らしと天平文化</p> <p>四.平安時代</p> <p>イ.平安遷都</p> <p>ロ.最澄と空海</p> <p>ハ.摂関政治</p> <p>ニ.遣隋使の中止と国風文化</p> <p>ホ.荘園の拡大</p> <p>ヘ.武士の台頭</p> <p>ト.院政</p> <p>チ.源平の興亡</p>			
<p>第3章 中世</p> <p>一.鎌倉時代</p> <p>イ.鎌倉幕府の幕開けと執権政治</p> <p>ロ.承久の乱（承久の変）</p> <p>ハ.鎌倉幕府の最盛期</p> <p>ニ.武士と民衆の生活</p> <p>ホ.蒙古襲来と亀山上皇の祈り</p> <p>ヘ.幕府と御家人の関係のほころび</p> <p>ト.鎌倉文化と鎌倉新仏教</p> <p>チ.後醍醐天皇の倒幕運動と建武の新政</p> <p>二.室町時代</p> <p>イ.室町幕府の成立</p> <p>ロ.天皇権が最も衰退した時代</p> <p>ハ.倭寇と日明貿易</p> <p>ニ.琉球と蝦夷地</p> <p>ホ.室町幕府の衰退</p> <p>ヘ.応仁の乱</p> <p>ト.生産業と商業の発展</p> <p>チ.北山文化と東山文化</p> <p>リ.戦国大名の登場</p>	<p>B (2)</p>	<p>119～</p> <p>182ペー</p> <p>ジ</p>	<p>14</p> <p>時間</p>
<p>第4章 近世</p> <p>一.安土桃山時代</p> <p>イ.世界の動きと日本</p> <p>ロ.大航海時代</p> <p>ハ.鉄砲の伝来と南蛮貿易</p> <p>ニ.正親町天皇と織田信長</p> <p>ホ.豊臣秀吉の天下統一</p> <p>ヘ.秀吉の政治と北京遷都計画</p> <p>ト.安土桃山文化</p> <p>二.江戸時代</p> <p>イ.関ヶ原の戦いと全国の統制</p> <p>ロ.朱印船貿易から鎖国へ</p> <p>ハ.鎖国下の対外窓口</p> <p>ニ.幕府と対立した後水尾天皇</p> <p>ホ.綱吉の文治政治と元禄文化</p> <p>ヘ.享保の改革</p> <p>ト.田沼の改革と寛政の改革</p> <p>チ.身分制社会</p> <p>リ.農業と産業の発達</p> <p>ヌ.国学・蘭学と化政文化</p>	<p>B (3)</p>	<p>183～</p> <p>268</p> <p>ページ</p>	<p>25</p> <p>時間</p>

<ul style="list-style-type: none"> ル.傍系から即位した光格天皇の気概 ヲ.押し寄せる欧米諸国 ワ.天保の大飢饉と天保の改革 カ.幕府に下った「海防の勅」 ヨ.ペリー来航と開国 タ.幕府の衰退と大政奉還 			
<p>第5章 近代</p> <p>一.欧米の近代化と日本</p> <ul style="list-style-type: none"> イ.イギリス革命とアメリカ独立戦争 ロ.啓蒙思想とフランス革命 ハ.イギリス産業革命と資本主義 <p>二.欧米列強のアジア侵略</p> <ul style="list-style-type: none"> ホ.欧米列強の日本遠征 ヘ.ペリーとハリスの要求 <p>二. 明治時代</p> <ul style="list-style-type: none"> イ.戊辰戦争と新政府の発足 ロ.廃藩置県と三大革命 ハ.富国強兵と文明開化 ニ.明治時代の文化 ホ.領土画定と朝鮮政策 ヘ.自由民権運動 ト.大日本帝国憲法発布と帝国議会開設 チ.条約改正交渉 リ.朝鮮における日清の対立 ヌ.三国干渉 ル.義和団事件と日英同盟 ヲ.日露戦争 ワ.ポーツマス条約 カ.韓国併合と中華民国の建国 ヨ.日本の産業革命 タ.都市と農村の生活 <p>三.大正時代</p> <ul style="list-style-type: none"> イ.第一次世界大戦 ロ.対華要求 ハ.ロシア革命と社会主義の成長 ニ.大戦終結と国際協調 ホ.大戦景気と政党内閣の成立 ヘ.大正デモクラシー ト.大正時代の生活と新しい文化 <p>三.昭和時代（戦前）</p> <ul style="list-style-type: none"> イ.中国での排日運動の激化 ロ.満州事変と満州国建国 ハ.世界恐慌と国際協調の終焉 ニ.ファシズムと共産主義の台頭 ホ.二・二六事件と盧溝橋事件 ヘ.戦時体制に入った日本 ト.第二次世界大戦の勃発 チ.日独伊三国同盟と日米交渉の決裂 リ.真珠湾攻撃で対米戦争が始まる 	<p>C (1)</p>	<p>269～ 410 ページ</p>	<p>40 時間</p>

ス.日本の快進撃とアジア諸国 ル.戦局の暗転と疲弊する日本 ヲ.都市空爆と本土陸上戦 ワ.ソ連参戦か原爆投下か カ.ポツダム宣言と原爆投下 コ.ソ連参戦と戦争終結				
第六章 現代 一.昭和時代（戦後） イ.GHQの占領政策 ロ.大日本帝国憲法の改正 ハ.冷戦と朝鮮戦争 ニ.高度経済成長と石油危機 ホ.戦後の日本文化 ヘ.隣国との関係構築と冷戦の終結 二.平成時代～現在 イ.天安門事件 ロ.冷戦終結 ハ.テロとの戦い ニ.頻発する地域紛争 ホ.緊張する東アジア情勢 ヘ.国際協調と日本の役割 ト.震災と世界の中の日本 チ.日本経済の推移と課題 リ.平成から令和へ	C(2)	411～ 459 ページ	10 時間	
			計	130

- (備考) 1 ※受理番号欄には、申請図書番号を記入する。
2 その他の※欄は検定申請時には記入せず、検定決定後に提出する際に記入する。
3 「編修上特に意を用いた点や特色」欄には、学習指導要領の総則や当該教科の目標を達成するため、編修上特に意を用いた点や特色を記入する。
4 「対照表」欄には、図書の構成・内容と学習指導要領に示す「内容」の各事項との対照について、「内容の取扱い」も踏まえて記入する。その際、「該当箇所」欄に、申請図書の該当箇所のページ（例：〇～〇ページ）を記入する。また、必要に応じ、例で示している様式を参考にして、「対照表」欄を適宜工夫して作成しても差し支えない。
5 「配当時数」欄には、申請図書で予定している配当授業時数を示すこと。なお、配当授業時数の記載が必要ない教科、種目については空欄でよい。
6 「編修上特に意を用いた点や特色」欄以下の外枠線は、記入しなくても差し支えない。
7 別紙様式第5-2号の分量は5ページ以内とする。

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
105－109	中学	社会	歴史的分野	1－3
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
236・令書	歴史236－ 73	国史教科書 第7版		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容 や内容の取扱いに示す事項	ページ数
57	初期の前方後円墳が密集する…	2	B (1)	0.75
227	再評価される「生類憐みの令」	2	B (3)	0.75
386～ 387	対米戦争に勝算はあったか	2	C (1)	1.75
合 計				3.25

- (備考) 1 ※受理番号欄には、申請図書番号を記入する。
- 2 その他の※欄は検定申請時には記入せず、検定決定後に提出する際に記入する。
「ページ」欄には、申請図書における発展的な学習内容の記述の掲載ページを示す。
- 3 「記述」欄には、申請図書における発展的な学習内容の記述に付された表題等を示す。
- 4 「類型」欄には、申請図書における発展的な学習内容の記述について、以下の分類により該当する記号を記入する。
- ・ 学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容…… 1
 - ・ 学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容…… 2
- 5 「関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項」欄には、当該学年等の学習指導要領の内容や内容の取扱いに示すどの事項と関連があるのか分かるように記入する。
- 6 「ページ数」欄には、発展的な学習内容の記述が掲載されているページ数を記入する。ページの数え方は以下のとおりとする。「合計」欄には発展的な学習内容の記述の合計ページ数を記入する。
- ・ 0.25ページ以下… 0.25ページ
 - ・ 0.25ページを超えて0.5ページ以下… 0.5ページ
 - ・ 0.5ページを超えて0.75ページ以下… 0.75ページ
 - ・ 0.75ページを超えて1ページ以下… 1ページ